

10.1.8 人と自然との触れ合いの活動の場

(1) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場

① 調査結果の概要

イ. 人と自然との触れ合いの活動の場の状況

(イ) 文献その他の資料調査

a. 調査地域

対象事業実施区域及びその周辺とした。

b. 調査方法

「いちき串木野市総合観光サイト みなと色、ロマン旅。」(いちき串木野市、令和5年11月閲覧)、「薩摩川内観光物産ガイド こころ」(薩摩川内市、令和5年11月閲覧)等の資料による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析を行った。

c. 調査結果

人と自然との触れ合いの活動の場は、公園・レジャー、自然探勝から30地点を抽出した。その概要は第10.1.8-1表、位置は第10.1.8-1図のとおりである。

第 10.1.8-1 表(1) 人と自然との触れ合いの活動の場

図中 番号	区 分	市町村	名 称	方向 距離	出典	概 要
1	公園・ レジャー	薩摩川内市	中郷池	NE 10.1km	2, 3, 5, 6	池の周囲 2 km には、広場、遊歩道などがあり散歩やジョギングに最適。桜並木や季節の花々が池に彩りを添える。
2	公園・ レジャー	薩摩川内市	天神池公園	NE 9.4km	2, 5, 6	高台から市街地を見渡せる展望所。自然豊かな市街地の眺望を楽しめる。
3	公園・ レジャー	薩摩川内市	薩摩国分寺 跡史跡公園	ENE 9.9km	5, 6, 7	8 世紀の国分寺の跡が復元される面積約 1.6ha の公園。ニニギノミコトとその子どもの御霊がこの丘陵地帯にまつられているとも伝えられている。
4	公園・ レジャー	薩摩川内市	寺山いこいの 広場	ENE 12.3km	2, 5, 6, 7	薩摩川内市街地を見渡せる標高 247m の高台に位置し、ゴーカートコースなどがある。せんだい宇宙館が隣接しており、家族で憩いのひと時が過ごせる公園。
5	公園・ レジャー	薩摩川内市	大原野池	E 8.4km	2, 7	湖畔に咲く桜は花見のスポットである。周囲の山並みが見渡せる。
6	公園・ レジャー	いちき串木 野市	冠岳花川砂 防公園	ESE 11.3km	6, 8	10 本の年代橋や多目的広場、水鏡、展望桜などがあり、四季を通じて様々な彩りを楽しめる中国風公園。
7	公園・ レジャー	いちき串木 野市	串木野ダム 周辺	ESE 9.5km	6	五反田川の上流にある串木野ダム周辺では、桜のほか小水林間広場やウォーキングトレイルもあり老若男女楽しめる。
8	公園・ レジャー	いちき串木 野市	観音ヶ池市 民の森	SE 11.6km	4, 6, 8	県推奨の「森林浴の森」70 選のひとつで、千本桜、ツツジ、アジサイ等四季を通じて憩いの場となっている。
9	公園・ レジャー	いちき串木 野市	照島公園	SSE 8.5km	4, 6, 8	松に囲まれた公園で、東シナ海を望むことができる。薩摩焼発祥の地である。
10	公園・ レジャー	いちき串木 野市	御倉山公園	SSE 6.9km	4	いちき串木野市市街地においてまとまった緑地として残る公園。
11	公園・ レジャー	いちき串木 野市	長崎鼻公園	SSE 7.2km	4, 8	東シナ海に突き出した松の緑と海の青が美しい公園。海水プール、流水スライダー、遊具等が整備されている。
12	公園・ レジャー	いちき串木 野市	串木野サン セットパー ク	WSW 1.3km	4, 6	東シナ海が一望でき、好天時には甌島を見ることができる。夕暮れ時には夕日の絶景スポットとなる。
13	公園・ レジャー	薩摩川内市	みやま池	NNE 3.0km	2, 3	川内原子力発電所横にある池。周囲の山並みが見渡せる。
14	公園・ レジャー	薩摩川内市	柳山アグリ ランド	NE 1.4km	2, 5, 6, 7	コスモス 3ha、菜の花 2ha、桜 250 本、ヤギ・ウサギ牧場、特産品直売所、山頂までのハイキングコースが整備されている。
15	公園・ レジャー	薩摩川内市	唐浜海水浴 場	N 7.9km	2, 5, 6, 7	白砂浜が約 2 km に渡って広がる。海上のかなたに甌島を望む海水浴場は遠浅で、シーズン中は家族連れでにぎわう。
16	自然探勝	薩摩川内市	高江新田	NE 4.0km	2	川内川下流左岸に広がる水田。見晴らしが良く、野鳥観察の好適地。
17	自然探勝	薩摩川内市	八間川水辺 の楽校	NE 4.9km	2	八間川下流部に整備された親水公園。付近には、有形文化財に指定されている石造眼鏡橋の江之口橋がある。

第 10.1.8-1 表(2) 人と自然との触れ合いの活動の場

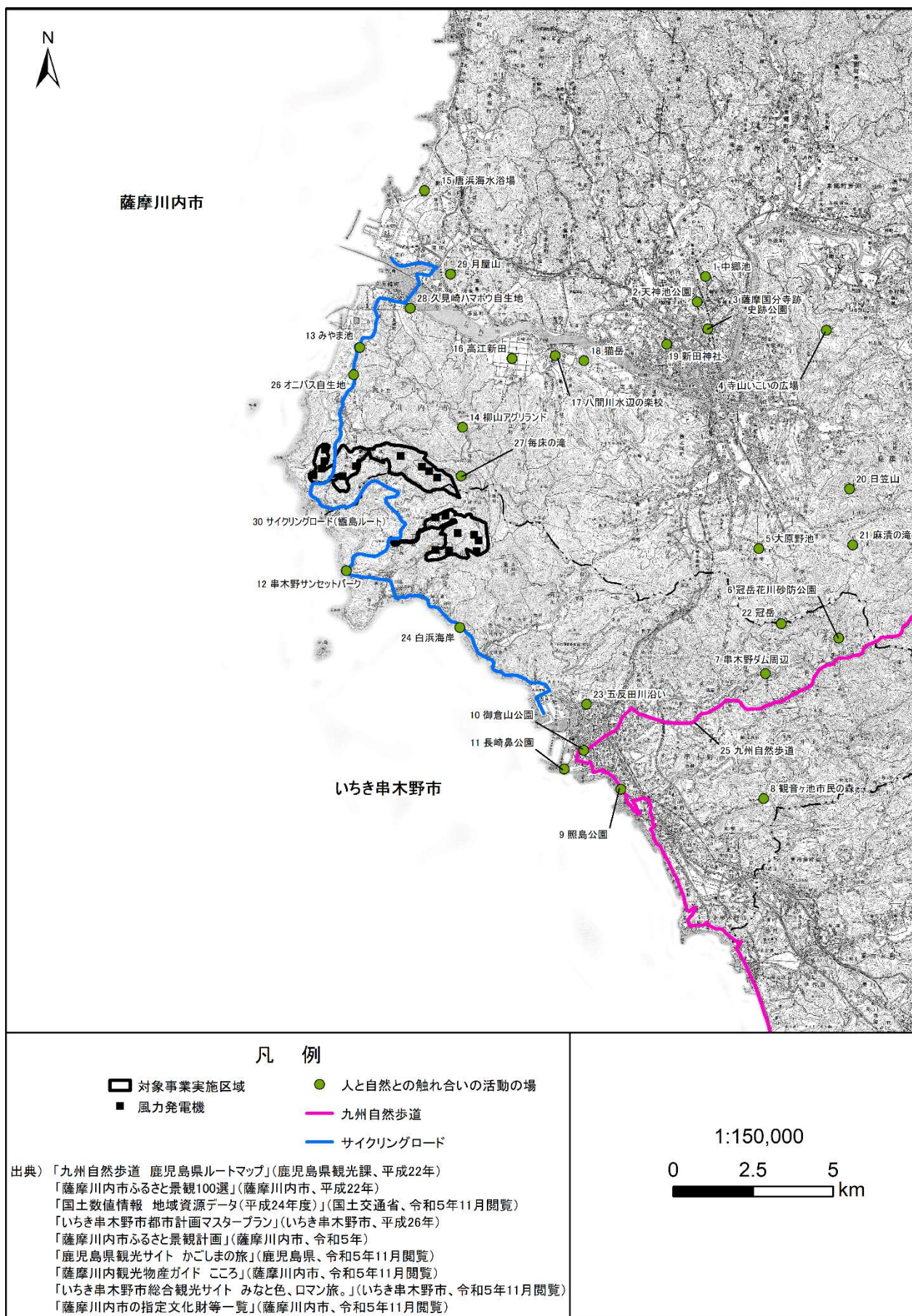
図中 番号	区 分	市町村	名 称	方向 距離	出典	概 要
18	自然探勝	薩摩川内市	猫岳	NE 5.5km	3, 5	川内川左岸に位置し、薩摩川内市内が一望できる標高 120m の山。豊臣秀吉が一夜にして城を作ったと言われる。
19	自然探勝	薩摩川内市	新田神社	ENE 7.9km	2, 5, 6, 7	神亀山(標高 70m)の山頂にあり、ニニギノミコトをまつる神社。桜の名所であり、クスノキの大木も見られる。
20	自然探勝	薩摩川内市	日笠山	E 11.3km	3, 5	薩摩川内市の南東に位置し、山頂からは薩摩川内市街が見渡せる。日笠山観音が祀られている。
21	自然探勝	薩摩川内市	麻漬の滝	E 11.4km	2, 7	百次川上流にある落差約 16m、幅 1 m の滝。
22	自然探勝	いちき串木野市	冠岳	ESE 9.4km	4, 5, 6, 8	標高 516m、桜島や霧島連峰が見渡せる。
23	自然探勝	いちき串木野市	五反田川 沿い	SSE 5.7km	6	いちき串木野市内を流れる五反田川沿い約 500m の遊歩道には、約 200 本のソメイヨシノが咲き誇る。
24	自然探勝	いちき串木野市	白浜海岸	S 2.1km	3, 4	羽島地域から荒川地域を繋ぐ、白い砂浜がきれいな海岸である。
25	自然探勝	いちき串木野市	九州自然 歩道	SE 6.6km	1	山、川、海岸、砂丘と歴史が融合された自然歩道。
26	自然探勝	薩摩川内市	オニバス 自生地	NNE 2.2km	9	環境省 RDB:絶滅危惧Ⅱ類(VU)、鹿児島県 RDB:絶滅危惧Ⅰ類、国内の南限とされている。7 月末～8 月発芽・開葉、9 月～10 月開花する。
27	自然探勝	薩摩川内市	毎床の滝	NE 0.2km	2	轟川上流にある滝。
28	自然探勝	薩摩川内市	久見崎ハ マボウ自 生地	NNE 4.2km	9	準絶滅危惧種。全国でも最大級の群落とされている。
29	自然探勝	薩摩川内市	月屋山	NNE 5.5km	2, 3, 5, 6, 7	川内川河口と東シナ海を一望できる標高 160 m の小高い山。
30	自然探勝	いちき串木野市	サイクリ ングロー ド(甌島ル ート)	0km	6	上甌島・中甌島・下甌島といちき串木野市を周遊するルート。サイクリングの醍醐味である、橋を渡る爽快感を存分に味わうことができる。

注：1. 図中番号は、第10.1.8-1図に対応する。

2. 「方向」は対象事業実施区域からみた人と自然との触れ合いの活動の場の方角を、「距離」は人と自然との触れ合いの活動の場から対象事業実施区域までの直線距離を示す。
 なお、「サイクリングロード(甌島ルート)」は、対象事業実施区域内を通過するため、方向は示していない。

出典)

- 1 「九州自然歩道 鹿児島県ルートマップ」(鹿児島県観光課、平成 22 年)
- 2 「薩摩川内市ふるさと景観 100 選」(薩摩川内市、平成 22 年)
- 3 「国土数値情報 地域資源データ(平成 24 年度)」(国土交通省、令和 5 年 11 月閲覧)
- 4 「いちき串木野市都市計画マスタープラン」(いちき串木野市、平成 26 年)
- 5 「薩摩川内市ふるさと景観計画」(薩摩川内市、令和 5 年)
- 6 「鹿児島県観光サイト かのしまの旅」(鹿児島県、令和 5 年 11 月閲覧)
- 7 「薩摩川内観光物産ガイド ところ」(薩摩川内市、令和 5 年 11 月閲覧)
- 8 「いちき串木野市総合観光サイト みなと色、ロマン旅。」(いちき串木野市、令和 5 年 11 月閲覧)
- 9 「薩摩川内市の指定文化財等一覧」(薩摩川内市、令和 5 年 11 月閲覧)



第 10.1.8-1 図 人と自然との触れ合いの活動の場の位置

ロ．主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布

(イ) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の選定

「イ．人と自然との触れ合いの活動の場の状況」で抽出した人と自然との触れ合いの活動の場のうち、主要な輸送経路が主なアクセスルートとなる地点から、文献その他の資料調査結果による利用状況を勘案して、「柳山アグリランド」、「白浜海岸」及び「久見崎ハマボウ自生地」の3地点を主要な人と自然との触れ合いの活動の場として選定した（第10.1.8-2表、第10.1.8-2図）。

なお、対象事業実施区域を通過するサイクリングルート（甕島ルート）については、事業による改変を行わないこと、鹿児島県（観光・文化スポーツ部PR観光課）へ利用実態等の聞き取りの結果、「利用実態は把握していないが利用者数は多くないと考えられる。」との回答があったことから、主要な人と自然との触れ合いの活動の場としては選定しなかった。

第10.1.8-2表 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の選定根拠

図中 番号	地 点	地点の設定根拠
1	柳山アグリランド	薩摩川内市高江町の柳山山頂付近に位置する観光公園である。山頂からの眺望やイベント等の利用により、不特定かつ多数の者が利用している可能性が高く、工事用資材等の搬出入に伴うアクセスルートへの影響が想定されることから、主要な人と自然との触れ合いの活動の場として設定した。
2	白浜海岸	いちき串木野市羽島に位置する白い砂浜がきれいな海岸であり、周辺には温泉施設がある。散策や夕陽の景観観賞等の利用により、不特定かつ多数の者が利用している可能性が高く、工事用資材等の搬出入に伴うアクセスルートへの影響が想定されることから、主要な人と自然との触れ合いの活動の場として設定した。
3	久見崎ハマボウ自生地	薩摩川内市久見崎町の川内川河口付近に位置する全国でも最大規模のハマボウの自生地であり、市の天然記念物に指定されている。周辺は公園となっており、ハマボウの開花時期には、自然観賞等の利用により、不特定かつ多数の者が利用している可能性が高く、工事用資材等の搬出入に伴うアクセスルートへの影響が想定されることから、主要な人と自然との触れ合いの活動の場として設定した。

注：図中番号は、第10.1.8-2図に対応する。

ハ．主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用の状況及び利用環境の状況

(イ) 文献その他の資料調査

ア．調査地域

対象事業実施区域及びその周辺とした。

イ．調査地点

「ロ．主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布」で設定した調査地点3地点とした（第10.1.8-2図）。

ウ．調査期間

入手可能な最新の資料を用いて実施した。

エ．調査方法

「いちき串木野 総合観光サイト みなと色、ロマン旅。」（いちき串木野市、令和5年11月閲覧）、「薩摩川内市観光物産ガイド こころ」（薩摩川内市、令和5年11月閲覧）等の資料による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析を行った。

オ．調査結果

主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況等の調査結果は、第10.1.8-3表のとおりである。

(ロ) 現地調査

ア．調査地域

対象事業実施区域及びその周辺とした。

イ．調査地点

「ロ．主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布」で設定した調査地点3地点とした（第10.1.8-2図）。

ウ．調査期間

主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用形態等を考慮して、夏季及び秋季の1日に行った。

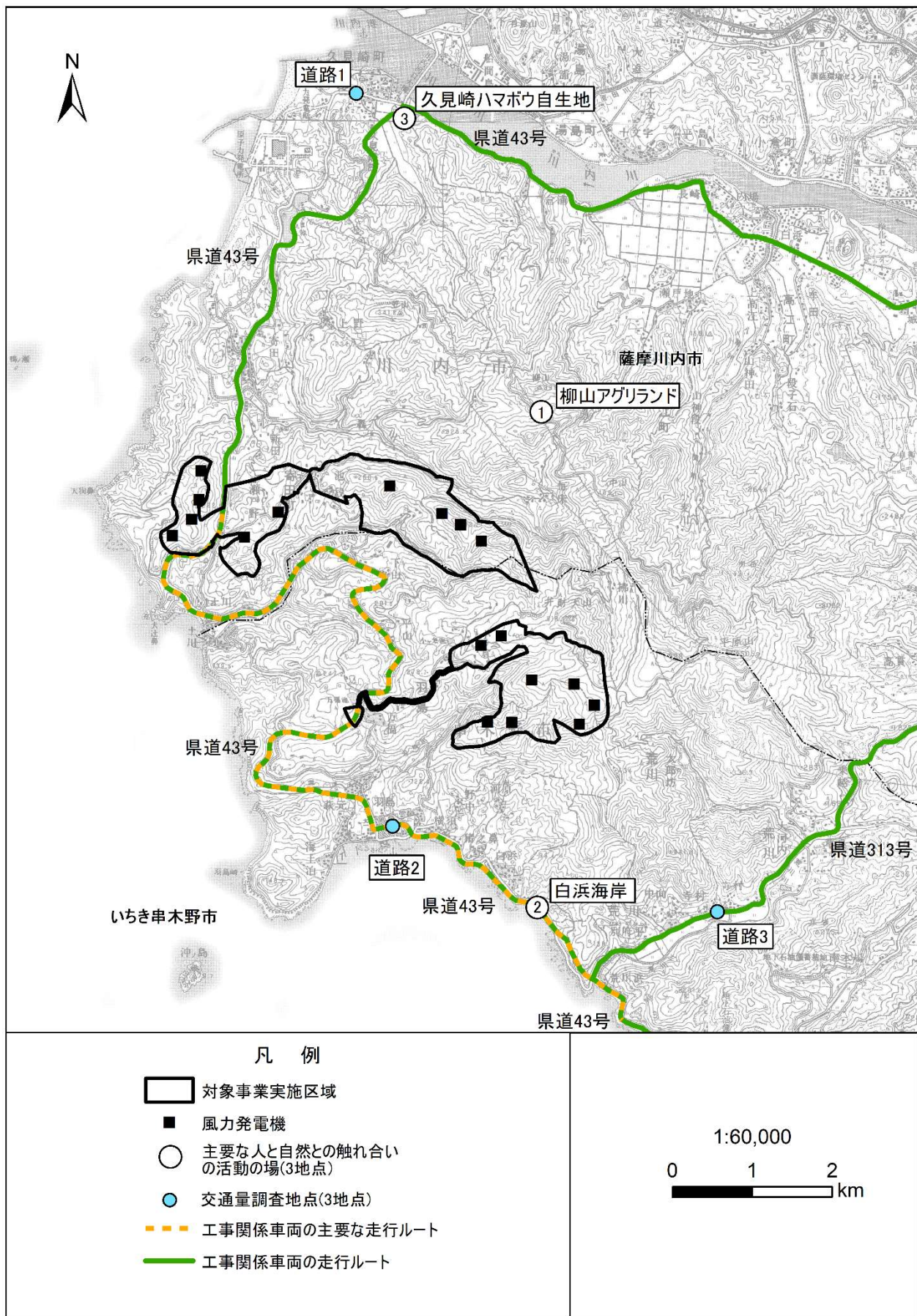
- ・令和2年7月21日（火）久見崎ハマボウ自生地
- ・令和2年8月8日（土）白浜海岸
- ・令和2年10月24日（土）柳山アグリランド
- ・令和3年5月27日（木）施設管理者等への聞き取り

エ．調査方法

主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、現地踏査を実施し、写真撮影及び目視確認等による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析を行った。

オ．調査結果

主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況等の調査結果は、第10.1.8-3表のとおりである。



第10.1.8-2図 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の調査位置

第10.1.8-3表(1) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の状況

1	調査項目		調査結果
柳山アグリランド	調査地点位置		・最も近い風力発電機から約1.8kmの位置にあり、工事関係車両の主要な走行ルート沿いに位置している。
	利用環境の状況	文献調査	・春は桜や菜の花、初夏はアジサイ、秋はコスモス、冬は水仙など四季折々の花々が咲き、ヤギ牧場、ウサギ牧場がある。 ・山頂からは360度の景色が見渡せる。
		現地調査	・フラワーゾーン（季節の花々を栽培）、草スキー場、サツマイモ畑、ふれあいヤギ牧場、ハイキングロード等の施設がある。 ・施設内の第一駐車場のほか第二駐車場があり、合わせて約200台駐車可能となっている。
	利用の状況	利用者特性 利用者数	・遊具があるため家族連れも多い。 ・2020年のコスモス祭りは700名程度の来場があった。
		現地調査	・午前8時から午後6時までの2時間毎の利用者数調査では最大55人の利用があった。利用の内容としては、コスモス観賞、散歩、芋掘り、草スキー等であった。また、駐車場は最大44台の駐車があった。
		催事状況	・4大イベント（菜の花、桜、バーベキュー、コスモス）
現地の状況			施設の状況
			フラワーゾーン（コスモス）
			駐車場の状況
			利用状況（コスモス観賞）
			利用状況（芋掘り）
			利用状況（草スキー）

第10.1.8-3表(2) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の状況

2	調査項目		調査結果
白浜海岸	調査地点位置		・最も近い風力発電機から約2.4kmの位置にあり、工事関係車両の主要な走行ルート沿いに位置している。
	利用環境の状況	文献調査	・白い砂浜がきれいな海岸。近くの丘陵には温泉施設がある。
		現地調査	・500m程度の砂浜が広がっており、一部岩礁が点在している。 ・白浜海岸に駐車場はないが、温泉施設の駐車場は約100台が収容可能。
	利用の状況	利用者特性 利用者数	・散策や夕陽の観賞で利用されている。 ・海水浴場の指定はない。
		現地調査	・午前8時から午後6時までの2時間毎の利用者数調査では最大13人の利用があった。利用の内容としては、砂浜・磯遊び、サーフィン、散策、休憩等であった。また、温泉施設の駐車場は最大30台の駐車があった。
		催事状況	・特に行われていない。
現地の状況			
	白浜海岸		
			
	白浜海岸		
			
	温泉施設の駐車場の状況		
現地の状況			
	利用状況（砂浜の遊び）		
			
	利用状況（散策）		
			
	利用状況（サーフィン）		

第10.1.8-3表(3) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の状況

3	調査項目		調査結果
久見崎ハマボウ自生地	調査地点位置		・最も近い風力発電機から約4.6kmの位置にあり、工事関係車両の主要な走行ルート沿いに位置している。
	利用環境の状況	文献調査	・久見崎ハマボウ自生地は、薩摩川内市指定文化財に指定されている（平成12年8月1日指定）。 ・規模は約2haとなっている。
		現地調査	・ハマボウは自生地内の道路沿いに自生しており、道路を歩いて観賞が可能。 ・ハマボウ自生地周辺は、久見崎公園として整備されており、主要な施設として、はまぼう館、駐車場、トイレ、休憩所（四阿 ^{あずまや} ）、ベンチ等が確認された。 ・駐車場は2箇所あり、合計で約30台が収容可能。
	利用の状況	利用者特性 利用者数	・ハマボウの観賞や写真撮影で利用されている。
		現地調査	・午前8時から午後6時までの2時間毎の利用者数調査ではハマボウ自生地及び久見崎公園の散策やハマボウの観賞・写真撮影等の利用者は確認できなかった。ただし、駐車場は休憩やトイレ等の利用で最大9台の駐車があった。
		催事状況	・特に行われていない。
現地の状況			
	ハマボウ自生地（近景）		
			
	ハマボウ自生地（遠景）		
			
	駐車場の状況		
現地の状況			
	駐車場の状況		
			
	はまぼう館		
			
	休憩所（四阿 ^{あずまや} ）		

二．交通量に係る状況

(イ) 文献その他の資料調査

a．調査地域

対象事業実施区域及びその周辺とした。

b．調査方法

「令和３年度全国道路・街路交通情勢調査」(国土交通省、令和５年)による道路交通量に係る情報の収集並びに当該情報の整理を行った。

c．調査結果

「3.2.4 交通量の状況」のとおりである。

(ロ) 現地調査

a．調査地域

対象事業実施区域及びその周辺とした。

b．調査地点

第10.1.8-2図に示す交通量調査地点３地点とした。

c．調査期間

調査期間は、平日及び土曜日の各１回とした。

・平日：令和２年12月10日(木)7～19時

・土曜日：令和２年12月12日(土)7～19時

d．調査方法

調査地点の方向別、車種別交通量等を調査し、調査結果の整理を行った。

e．調査結果

交通量の調査結果は、第10.1.8-4表のとおりである。

第10.1.8-4表 交通量の調査結果

図中記号	路線名	車種	台数(台/12h)	
			12月10日(平日)	12月12日(土曜日)
道路1	県道43号	小型車	2,188	1,331
		大型車	725	210
		合計	2,913	1,541
道路2	県道43号	小型車	1,264	1,231
		大型車	237	31
		合計	1,501	1,262
道路3	県道313号	小型車	782	727
		大型車	66	36
		合計	848	763

注：１．交通量は、昼間12時間（7～19時）の往復交通量を示す。

２．小型車の交通量は、動力付き二輪車を含む。

３．図中記号は、第10.1.8-2図に対応する。

② 予測及び評価の結果

イ. 工事の実施

(イ) 工事用資材等の搬出入

a. 環境保全措置

工事用資材等の搬出入に伴う交通量が主要な人と自然との触れ合いの活動の場へのアクセスルートに与える影響を低減するため、以下の環境保全措置を講じる。

- ・工事工程等の調整により可能な限り工事関係車両台数を平準化し、建設工事のピーク時の台数の低減を図る。
- ・工事関係者の通勤においては、乗り合いの促進により工事関係車両台数の低減を図る。
- ・急発進、急加速の禁止及びアイドリングストップ等のエコドライブを徹底する。
- ・関係機関等に随時確認し、イベント等により工事関係車両の主要な走行ルートにアクセスが集中する可能性のある場合には、該当期間及び該当区間において工事関係車両の走行を可能な限り控える等、配慮する。
- ・現地看板により工事のお知らせをする等、工事について周知すると共に、既存道路と工事区域の取り合い部等には誘導員を配置し、注意喚起に努める。
- ・定期的に会議等を行い、環境保全措置の内容について工事関係者に周知徹底する。

b. 予測地域

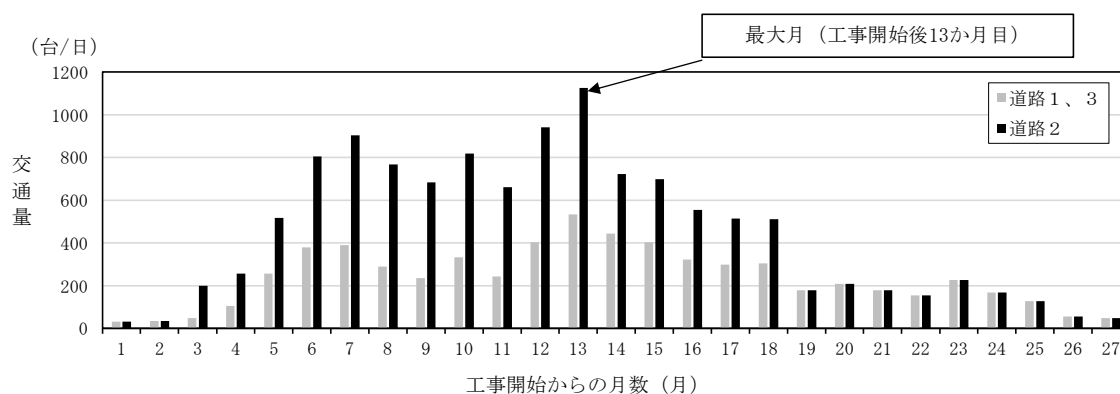
対象事業実施区域及びその周辺とした

c. 予測地点

「① 調査結果の概要 ニ. 交通量に係る状況 (ロ) 現地調査 b. 調査地点」と同じとした(第10.1.8-2図)。

d. 予測対象時期

工事用資材等の搬出入車両(通勤車両含む)による交通量が最大となる時期(工事開始後13か月目とした(第10.1.8-3図))。



注：交通量は、往復交通量を示す。

第 10.1.8-3 図 工事関係車両の月別交通量

e. 予測手法

予測地点における工事関係車両と将来交通量との比較を行い、主要な人と自然との
触れ合いの活動の場へのアクセスに及ぼす影響の程度を交通量の変化から予測した。

交通量の変化は、将来交通量のうち工事関係車両の占める割合及び時間最大交通量
を用いて予測した。

f. 予測結果

(a) 本事業

本事業の予測地点における将来交通量は第 10.1.8-5 表、主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響の予測結果は第 10.1.8-6 表のとおりである。

第 10.1.8-5 表(1) 予測地点における将来交通量（本事業：平日）

図中 記号	路線名	車種	交通量（台）				工事関係車両 の割合 （％）
			現状	将来			
			一般車両	一般車両	工事関係 車両	合計	b / （ a + b ）
				a	b	a + b	
道路 1	県道43号	小型車	2,188	2,188	216	2,404	15.5
		大型車	725	725	318	1,043	
		合 計	2,913	2,913	534(186)	3,447	
道路 2	県道43号	小型車	1,264	1,264	216	1,480	42.9
		大型車	237	237	910	1,147	
		合 計	1,501	1,501	1,126(186)	2,627	
道路 3	県道313号	小型車	782	782	216	998	38.6
		大型車	66	66	318	384	
		合 計	848	848	534(186)	1,382	

注： 1. 交通量は、昼間12時間（7～19時）の往復交通量を示す。
 2. 現状及び将来の一般車両の交通量は、現地調査結果とした。
 3. 予測時期は、工事開始後13か月目とした。
 4. 図中記号は、第10.1.8-2図に対応する。
 5. 交通量の（）は、1時間当たりの工事関係車両の最大台数（往復）を示す。

第10.1.8-5表(2) 予測地点における将来交通量（本事業：土曜日）

図中 記号	路線名	車種	交通量（台）				工事関係車両 の割合 （％）
			現状	将来			
			一般車両	一般車両	工事関係 車両	合計	b / （ a + b ）
				a	b	a + b	
道路 1	県道43号	小型車	1,331	1,331	216	1,547	25.7
		大型車	210	210	318	528	
		合 計	1,541	1,541	534(186)	2,075	
道路 2	県道43号	小型車	1,231	1,231	216	1,447	47.2
		大型車	31	31	910	941	
		合 計	1,262	1,262	1,126(186)	2,388	
道路 3	県道313号	小型車	727	727	216	943	41.2
		大型車	36	36	318	354	
		合 計	763	763	534(186)	1,297	

注： 1. 交通量は、昼間12時間（7～19時）の往復交通量を示す。
 2. 現状及び将来の一般車両の交通量は、現地調査結果とした。
 3. 予測時期は、工事開始後13か月目とした。
 4. 図中記号は、第10.1.8-2図に対応する。
 5. 交通量の（）は、1時間当たりの工事関係車両の最大台数（往復）を示す。

第10.1.8-6表 主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響の予測結果（本事業）

図中 番号	予測地点	予測結果
1	柳山アグリランド	本地点は、薩摩川内市の柳山の頂上付近に位置しており、県道43号を経由してアクセスする場合、道路1と道路2を経由する可能性が考えられる。 工事関係車両の割合は、道路1で最大25.7%、道路2で最大47.2%であるが、1時間当たりの往復台数は、朝夕の通勤時に最大186台程度であり、現況交通量も2車線道路で3,000台以下程度であるため、アクセスは阻害されないと予測する。
2	白浜海岸	本地点は、いちき串木野市の県道43号沿線に存在しており、道路1～道路3を経由してアクセスする可能性が考えられる。 工事関係車両の割合は、道路1で最大25.7%、道路2で最大47.2%、道路3で最大41.2%であるが、1時間当たりの往復台数は、朝夕の通勤時に最大186台程度であり、現況交通量も2車線道路で3,000台以下程度とであるため、アクセスは阻害されないと予測する。
3	久見崎ハマボウ自生地	本地点は、薩摩川内市の県道43号沿線に存在しており、道路1と道路2を経由してアクセスする可能性が考えられる。 工事関係車両の割合は、道路1で最大25.7%、道路2で最大47.2%であるが、1時間当たりの往復台数は、朝夕の通勤時に最大186台程度であり、現況交通量も2車線道路で3,000台以下程度であるため、アクセスは阻害されないと予測する。

注：図中番号は、第10.1.8-2図に対応する。

(b) 累積的な影響

本事業及び他事業との累積的な影響の予測地点における将来交通量は第 10.1.8-7 表、主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響の予測結果は第 10.1.8-8 表のとおりである。

第 10.1.8-7 表(1) 予測地点における将来交通量（累積的な影響：平日）

図中 記号	路線名	車種	交通量（台）				工事関係車両 の割合 （％）
			現状	将来			
				一般車両	一般車両	工事関係 車両	
					a	b	a + b
道路 1	県道43号	小型車	2,188	2,188	234	2,422	
		大型車	725	725	680	1,405	
		合 計	2,913	2,913	914(223)	3,827	
道路 2	県道43号	小型車	1,264	1,264	234	1,498	
		大型車	237	237	1,272	1,509	
		合 計	1,501	1,501	1,506(223)	3,007	
道路 3	県道313号	小型車	782	782	234	1,016	
		大型車	66	66	680	746	
		合 計	848	848	914(223)	1,762	

注： 1. 交通量は、昼間12時間（7～19時）の往復交通量を示す。
 2. 現状及び将来の一般車両の交通量は、現地調査結果とした。
 3. 予測時期は、工事開始後13か月目とした。
 4. 図中記号は、第10.1.8-2図に対応する。
 5. 交通量の（）は、1時間当たりの工事関係車両の最大台数（往復）を示す。
 6. 工事関係車両は、本事業及び他事業のそれぞれ工事関係車両最大時の合計台数を示す。

第10.1.8-7表(2) 予測地点における将来交通量（累積的な影響：土曜日）

図中 記号	路線名	車種	交通量（台）				工事関係車両 の割合 （％）
			現状	将来			
				一般車両	一般車両	工事関係 車両	
							a
道路 1	県道43号	小型車	1,331	1,331	234	1,565	37.2
		大型車	210	210	680	890	
		合 計	1,541	1,541	914(223)	2,455	
道路 2	県道43号	小型車	1,231	1,231	234	1,465	54.4
		大型車	31	31	1,272	1,303	
		合 計	1,262	1,262	1,506(223)	2,768	
道路 3	県道313号	小型車	727	727	234	961	54.5
		大型車	36	36	680	716	
		合 計	763	763	914(223)	1,677	

注： 1. 交通量は、昼間12時間（7～19時）の往復交通量を示す。
 2. 現状及び将来の一般車両の交通量は、現地調査結果とした。
 3. 予測時期は、工事開始後13か月目とした。
 4. 図中記号は、第10.1.8-2図に対応する。
 5. 交通量の（）は、1時間当たりの工事関係車両の最大台数（往復）を示す。
 6. 工事関係車両は、本事業及び他事業のそれぞれ工事関係車両最大時の合計台数を示す。

第10.1.8-8表 主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響の予測結果（累積的な影響）

図中 番号	予測地点	予測結果
1	柳山アグリランド	本地点は、薩摩川内市の柳山の頂上付近に位置しており、県道43号を經由してアクセスする場合、道路1と道路2を經由する可能性が考えられる。 工事関係車両の割合は、道路1で最大37.2%、道路2で最大54.4%であるが、1時間当たりの往復台数は、朝夕の通勤時に最大223台程度であり、現況交通量も2車線道路で3,000台以下程度であるため、アクセスは阻害されないと予測する。
2	白浜海岸	本地点は、いちき串木野市の県道43号沿線に存在しており、道路1～道路3を經由してアクセスする可能性が考えられる。 工事関係車両の割合は、道路1で最大37.2%、道路2で最大54.4%、道路3で最大54.5%であるが、1時間当たりの往復台数は、朝夕の通勤時に最大223台程度であり、現況交通量も2車線道路で3,000台以下程度とであるため、アクセスは阻害されないと予測する。
3	久見崎ハマボウ自生地	本地点は、薩摩川内市の県道43号沿線に存在しており、道路1と道路2を經由してアクセスする可能性が考えられる。 工事関係車両の割合は、道路1で最大37.2%、道路2で最大54.4%であるが、1時間当たりの往復台数は、朝夕の通勤時に最大223台程度であり、現況交通量も2車線道路で3,000台以下程度であるため、アクセスは阻害されないと予測する。

注：図中番号は、第10.1.8-2図に対応する。

g. 評価の結果

(a) 環境影響の回避・低減に関する評価

工事用資材等の搬出入に伴う交通量が主要な人と自然との触れ合いの活動の場へのアクセスルートに与える影響を低減するための環境保全措置は、以下のとおりである。

- ・ 工事工程等の調整により可能な限り工事関係車両台数を平準化し、建設工事のピーク時の台数の低減を図る。
- ・ 工事関係者の通勤においては、乗り合いの促進により工事関係車両台数の低減を図る。
- ・ 急発進、急加速の禁止及びアイドリングストップ等のエコドライブを徹底する。
- ・ 関係機関等に随時確認し、イベント等により工事関係車両の主要な走行ルートにアクセスが集中する可能性のある場合には、該当期間及び該当区間において工事関係車両の走行を可能な限り控える等、配慮する。
- ・ 現地看板により工事のお知らせをする等、工事について周知すると共に、既存道路と工事区域の取り合い部等には誘導員を配置し、注意喚起に努める。
- ・ 定期的に会議等を行い、環境保全措置の内容について工事関係者に周知徹底する。

これらの措置を講じることにより、本事業及び他事業との累積的な影響による道路交通量の変化による影響は、工事関係車両の割合は15.5～54.5%であるが、1時間当たりの最大数は往復台数で223台程度であるため、工事用資材等の搬出入に伴う主要な人と自然との触れ合いの活動の場へのアクセスに及ぼす影響は少ないものと考えられる。

以上のことから、工事用資材等の搬出入に伴う主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響は、実行可能な範囲内で低減が図られているものと評価する。